



カシオペア NET フォーラム開催

2月21日、二戸パークホテルにて「カシオペア NET フォーラム」が開催されました。こちらは、NPO 法人カシオペア医療介護支援センターが主催として開催されたものであり、今回当院を事務局としているひめぼたるネット共催のもと新たな地域の医療福祉連携推進の講演会として初開催されました。

一般講演は当院高橋副院長より「カシオペア NET の運用について」との題目で行われました。

「カシオペア NET」は二戸圏域内で導入が進められている医療介護福祉連携の ICT システムの名称でもあり、ここ数年での導入の動きや今後の展望について紹介がありました。遠隔でも各担当者の関わりが目に見える仕組みや、施設状況を確認できる仕組み作りなど今後の動向に注目したいところです。



特別講演は、武蔵国分寺クリニックの名誉院長である名郷直樹先生より「下り坂を支援する介護・ケア」という題目でご講演頂きました。在宅診療の推進が進められている近年ではありますが、実際の患者ご本人・ご家族にはイメージが出来ていなかったり、不安が大きいという状況もあります。また、医療の進歩は長期の介護・ケアの必要性も増加させ、終末期対応の長期化にもつながりました。

その中で、出来なくなっていく患者自身の生活にどの様に向き合えば良いのか、ゴールはどの様に捉えれば良いのか日々の支援に悩んでいく状況でもあります。ただし、出来ない、下り坂の状況であるからケアや支援は必要であるし、どの様に亡くなっていくかという実際の過程は誰にもわかりません。そのため、大変だから頼って当たり前ということ、どの様な生き方をしても自由だし正解はないということ、こういった考えも持ち医療者・専門職としてのかかわりを日々見つめ直していきたいと感じました。



リハビリテーション技術科の紹介

リハビリテーション技術科 槻木澤 遊

当院のリハビリテーション技術科には、理学療法士 9 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 4 名の計 19 名が在籍しております。

算定可能なリハビリテーション料としては脳血管リハビリテーションⅠ、廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ、運動器リハビリテーション料Ⅰ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰ、がん患者リハビリテーション料、摂食機能療法となっております。

当院は急性期病院で二戸圏域の基幹病院となります。役割としては、入院後数日から早期介入を行い、廃用の進行予防・機能回復に努めながら、回復期病院や地域病院への転院と繋げていきます。急性期治療と並行してリハビリを提供していくため十分なリスク管理が必要となってきます。それぞれが資格を取得するなど知識・技術を身につけ患者様が安心してリハビリを受けられるように日々努力しております。現在は 3 学会合同呼吸療法認定士 4 名、糖尿病療養指導士 1 名、認定作業療法士 1 名、心不全療養指導士（今年度取得予定）1 名が在籍しております。また当院には地域包括ケア病棟があり、リハビリテーション技術科からは理学療法士 1 名が病棟専従となっております。在宅復帰に不安がある患者様が主に入棟しており、1 日平均 2 単位（1 単位 20 分）以上のリハビリを提供、また家族様やケアマネージャーにリハビリの様子を見学して頂き、一つでも懸念点を解消し、安心して退院できるように関わっております。

当院は急性期病院でありながら自宅退院まで関わる機会が多いです。たくさんの患者様と関わることで日々学ぶことが多くあります。また、患者様から様々なことを求められることもあります。少しでも質の良いリハビリテーションを提供できるようにスタッフ全員日々努力しております。



リハビリ室からの眺めは素晴らしく四季の変化を感じることが出来ます。患者様からの評判がとても良いです。

編集後記

年々1年間が過ぎる早さに驚かされるばかりです。今年度も大変お世話になりました。

